発行　令和６年３月

研究レポート　No. 1108　　岩手県農業研究センター

AI による病害予測：トマトうどんこ病の防除を効率的に

【概要】

1　AI による病害予測システム（プランテクト®、写真）のリスク表示（図１）を参考に防除要否を判断すると、薬剤防除回数を削減しつつ、トマトうどんこ病の発生を抑制できます（図２）。

【試験データ等】

写真 プランテクト®
温湿度センサー

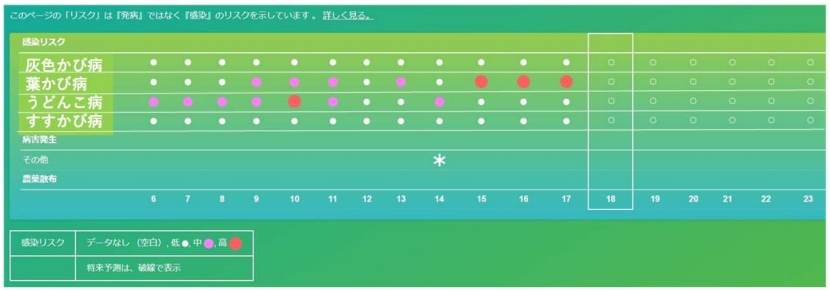

図１　プランテクト®による病害発生予測リスクの表示イメージ

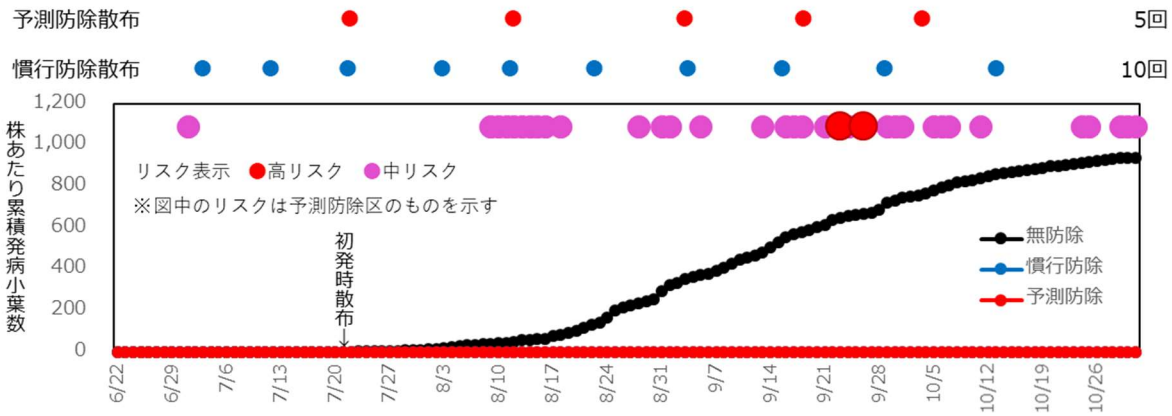

図２　プランテクト®の病害発生予測に基づいた防除の実証結果（R3、トマトうどんこ病）
※慣行防除区：防除回数 10 回　予測防除区：5 回→病害予測の活用で防除回数半減

【留意事項】

1　プランテクト®の発病予測システムは、過去の発病履歴や温湿度の情報にもとづいて感染可能性を推定します。ほ場ごとの AI 学習の履歴によっても精度が変わります。

2　本研究は、生研支援センター　イノベーション創出強化研究推進事業　開発研究ステージ 30033C「施設園芸の主要病害発生予測AIによる総合的病害予測・防除支援ソフトウェア開発」の支援を受けて実施しました。他病害の予測精度等については「AI病害発生予測コンソーシアム　マニュアル・研究報告（https://www.akita-pu.ac.jp/oshirase/oshirase2022/AIbyougai)」を参照してください。

【令和４年度成果】AI による病害予測システムによるトマトうどんこ病の発生予測と予測に基づいた防除の実証（R4-指導-34）

担当　生産環境研究部・病理昆虫研究室　　Tel. 0197-68-4424　Fax. 0197-71-1085